

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	日常生活援助 技術論演習 I	1	30	1 年次	4 月	東垂水朋子 田中紀代美
<b>授業概要</b>						
<p>療養生活の環境を構成する要素を理解し、病室・病床の環境のアセスメントと調整について学ぶ。</p> <p>ベッド周囲と病床の環境整備、ベッドメイキング、リネン交換の看護技術を習得する。また、姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解し、体位変換と移乗・移送の方法を学ぶ。睡眠と睡眠障害は、そのメカニズムと睡眠に障害をもつ対象への援助について学ぶ。</p>						
<b>科目目標</b>						
<p>対象における環境の意義とその調整のための技術を学ぶ。人間にとっての活動および休息の機能を理解し、それぞれに関わる援助技術が習得できる。</p>						
<b>使用教材</b>						
<p>テキスト：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術Ⅱ，医学書院  看護がみえる① vol I 基礎看護技術，メディックメディア</p> <p>参考文献等：任和子編，根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術，医学書院  竹尾恵子著，看護技術プラクティス，学研</p>						
<b>評価</b>						
<p>筆記試験、学習課題、レポートの提出状況</p> <p>技術試験（包布を使用したクローズドベッドリネン交換）</p>						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
6 時間・3 回	1.療養生活の環境 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人と環境</li> <li>2) 療養生活と環境</li> <li>3) 生活環境の調整</li> </ol> 2.病室の環境のアセスメントと調整 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病室・病床の選択</li> <li>2) 湿度・温度</li> <li>3) 光と音</li> <li>4) 病棟の構造、病床の種類、寝床に必要な条件、 病床としての寝床</li> </ol> 3.援助の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ベッド周囲の環境整備</li> </ol> <b>【実技：環境整備】</b>					講義 実技
2 時間・1 回	4.活動の意義 5.対象における姿勢・体位の意義や充足のための援助技術 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 姿勢、動作、作業域、ボディメカニクス</li> <li>2) 基本的な体位、良肢位</li> </ol>					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	日常生活援助 技術論演習 I	1	30	1 年次	4 月	東垂水朋子 田中紀代美
時間・回数	授業内容					方法
2 時間・1 回	6. 休息の意義 7. 睡眠と休息の援助 1) 睡眠の生理 2) サーカディアンリズムとは 3) 生活リズムを整える必要性とその援助					講義
12 時間・6 回	8. ベッドメイキング 【実技：リネンの種類とそのたたみ方】 【実技：下シーツの作り方】 【実技：オープンベッド、クローズドベッドの作り方】 【実技：包布を用いたクローズドベッドの作り方】					講義 実技
6 時間・3 回	9. 対象にとっての安楽の意義 1) 安楽の定義と意義 2) 安楽を阻害する因子 10. 対象における活動、移動の意義や充足のための援助技術 1) 移動動作 2) 体位変換 3) 車椅子、ストレッチャーの移動 【実技：水平移動】 【実技：仰臥位から側臥位】 【実技：枕のあて方】 【実技：シーツ・担架を利用した移動】					講義 実技
1 時間・1 回	筆記試験					
1 時間・1 回	技術試験					
備考 技術が習得できるように各自で練習を行う。 関連科目：解剖生理学、人間工学、日常生活援助技術Ⅱ・Ⅲ、生活とリハビリテーション						